



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

2026年4月17日

2026年3月期 決算説明資料

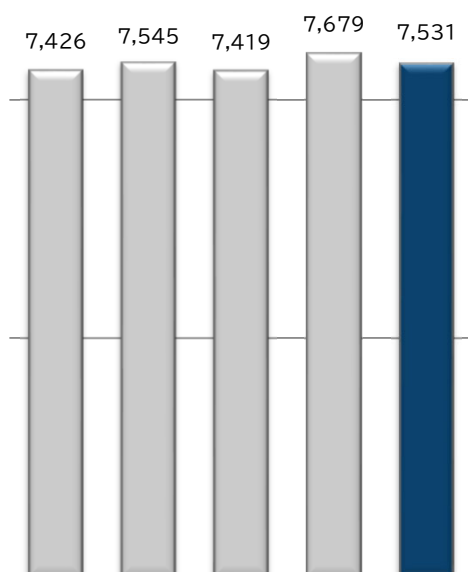
- ◆ 各段階利益は前年を大きく上回り推移
- ◆ 紙媒体広告の急減、販売費及び一般管理費の増加もあり、2025年10月17日発表の業績修正予想を下回って着地
- ✓ 次期計画はインターネット広告の成長や、顧客基盤の多角化により、対当期比で増収・増益を計画
- ✓ 次期配当予想は24円⇒25円に増配予定

連結業績のハイライト

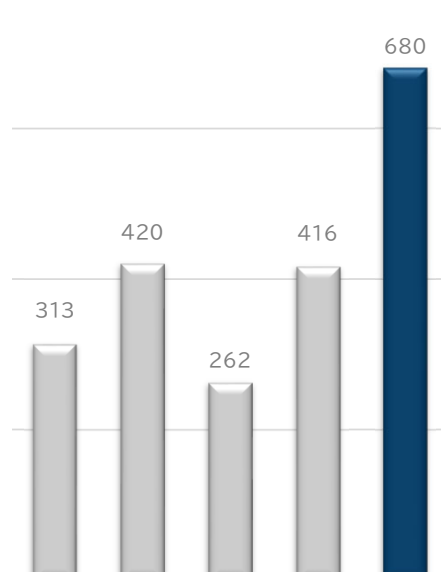
(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	7,426	7,545	7,419	7,679	7,531
営業利益	296	401	249	418	674
経常利益	313	420	262	416	680
親会社株主に帰属する当期純利益	247	369	125	358	473

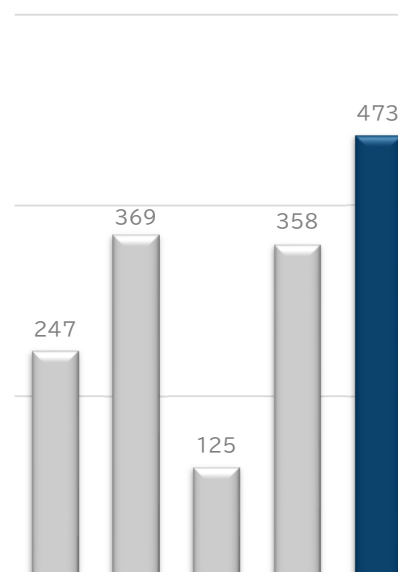
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)



- ◆ 売上高は横ばい
- ◆ 営業利益、経常利益は大きく増加

2026年3月期 業績の状況(対前期比)

(単位:百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	7,679	100.0%	7,531	100.0%	-148	-1.9%
売上総利益	2,420	31.5%	2,702	35.9%	282	+11.7%
営業利益	418	5.4%	674	9.0%	256	+61.2%
経常利益	416	5.4%	680	9.0%	263	+63.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	358	4.7%	473	6.3%	114	+32.0%

> 結果

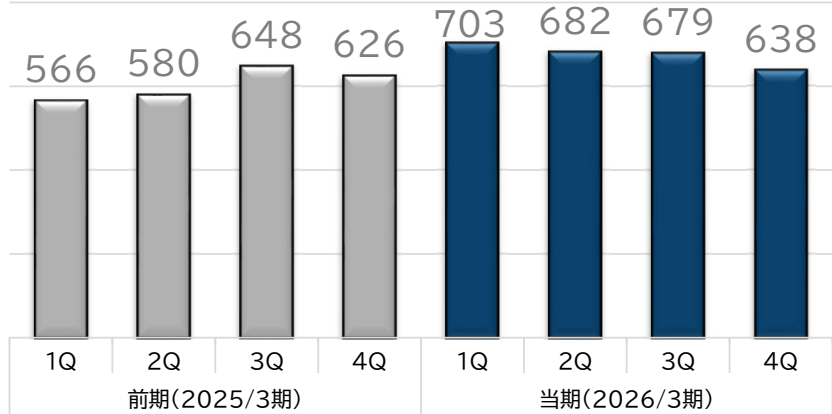
- ◆ 各段階利益は前期を大きく上回り推移
- ◆ 売上高は対前期で微減

> 要因

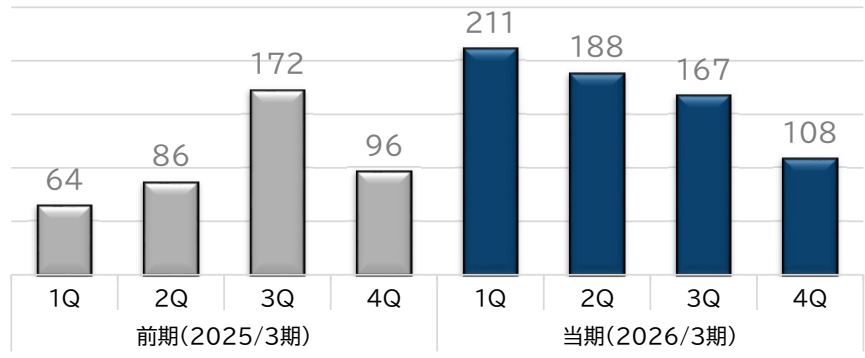
- ◆ パチンコ広告分野はガイドラインに則った集客に貢献する広告、サービスが市場に浸透しマージンが改善
- ◆ 広告事業全体において取扱高の大きい紙媒体広告が減少する一方で、利益率の高いインターネット広告の取扱高が増加

四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)

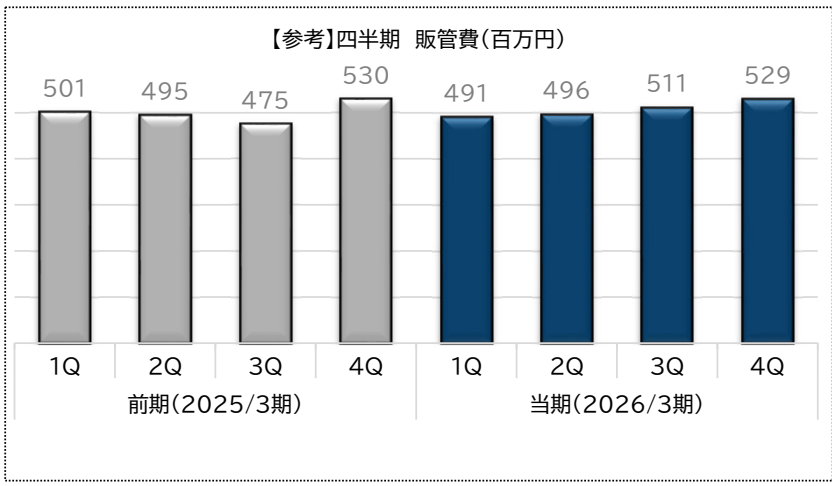
四半期 売上総利益(百万円)



四半期 営業利益(百万円)



【参考】四半期 販管費(百万円)



- ◆ 前年同期比で売上総利益は伸長
- ◆ 賃上げ、採用等人的的資本への投資により販売費及び一般管理費は微増

2026年3月期 業績の状況(業績予想比)

(単位:百万円)

2026年3月期	業績予想※		実績		差異	
	金額	対前期比	金額	対前期比	差異額	増減率
売上高	7,800	+1.6%	7,531	-1.9%	-268	-3.4%
営業利益	750	+79.3%	674	+61.2%	-75	-10.1%
経常利益	750	+80%	680	+63.3%	-69	-9.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	500	+39.4%	473	+32.0%	-26	-5.3%

※2025年10月17日公表

- ◆ 紙媒体広告の減少が第3四半期以降に加速し、2025年10月17日公表の業績予想値を下回り着地

事業の種類別セグメントの状況

【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円)
					連結
売上高	7,431	99	—	—	7,531
セグメント利益	907	47	—	-281	674

【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円)
					連結
売上高	-187	+42	-3	—	-148
セグメント利益	+212	+27	+1	+14	+256

- ◆ 紙媒体広告の減少により、広告事業の売上高は前年を下回り推移
インターネット広告へのシフトによりセグメント利益は前年を大幅に上回る
- ◆ 不動産事業は第1四半期に大型の宅地建物取引手数料案件の計上もあり、
前年を大きく上回り着地

セグメント損益(広告事業)

(単位:百万円)

広告事業	前期	当期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,619	7,431	-187	-2.5%
セグメント利益	695	907	+212	+30.6%

外部環境>

◆ パチンコホール施設:

- ・スマート遊技機の普及や遊技性の多様化により業界活性化に期待
- ・業界タレント等の来店プロモーション企画や、インターネット広告の需要は増加傾向
- ・2025年5月にパチンコ業界4団体から発出された「広告宣伝ガイドライン第三版」により、広告手法や集客支援の実施可能な範囲が明確化

◆ パチンコホール以外の広告分野:

- ・紙媒体広告需要はパチンコホール広告分野同様減少
- ・インターネット広告需要は増加基調

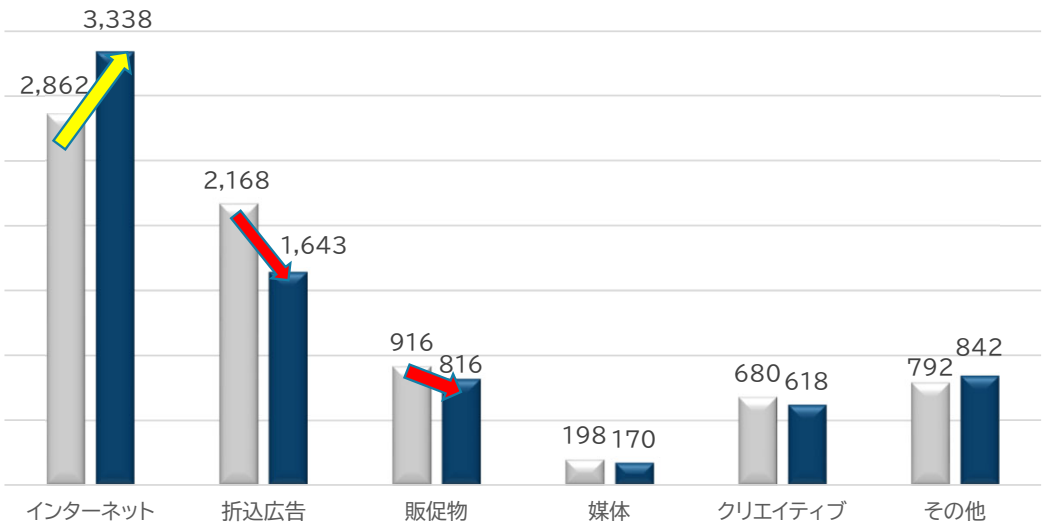
当社グループの取り組み>

- ◆ ガイドラインに則った集客支援広告、サービスの開発、拡販
- ◆ DSP広告や、自社保有サイト「パチ7」のオリジナルサービス等のマージンの高いサービスの販売に注力
- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進

品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

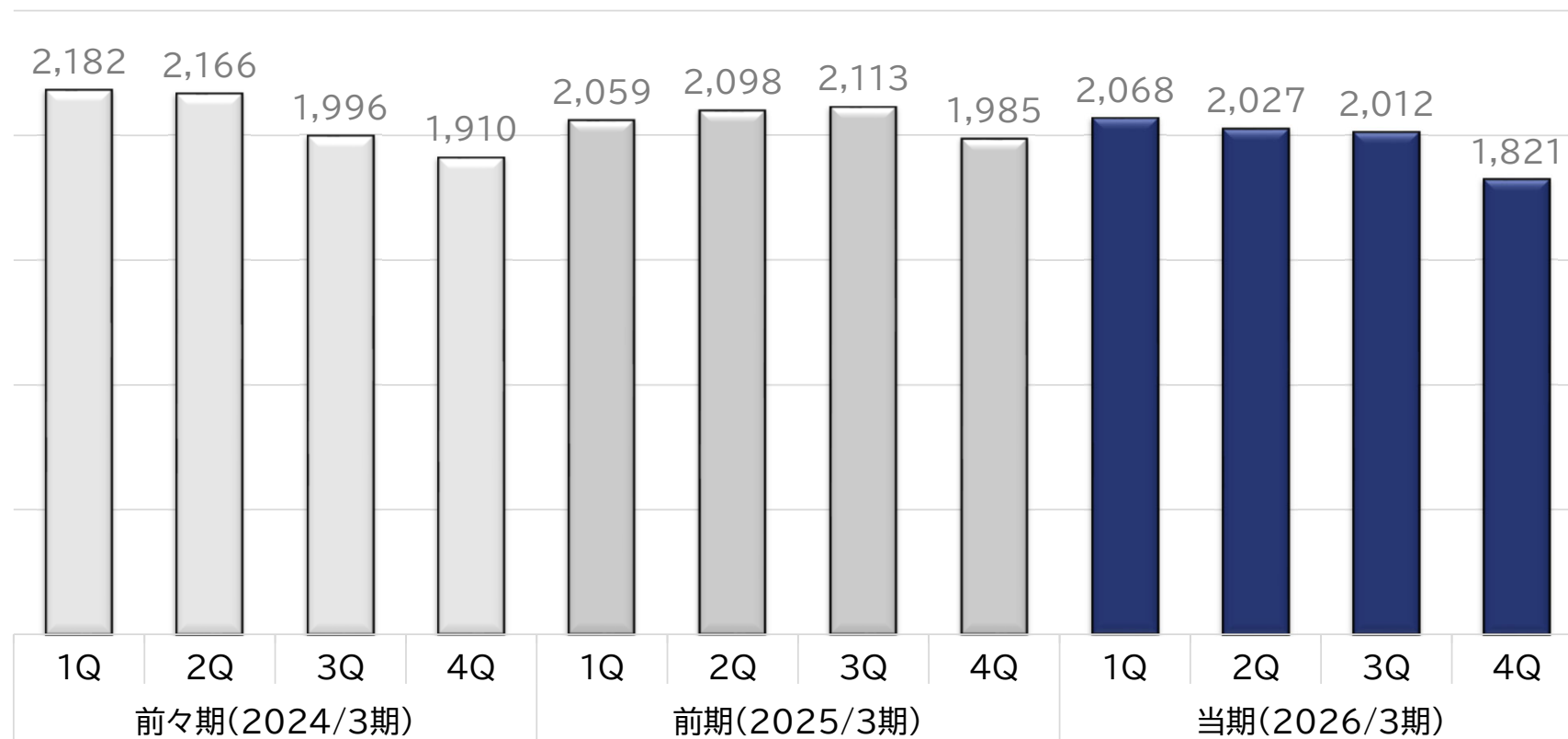
	前期		当期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
インターネット	2,862	37.6%	3,338	44.9%	476	16.6%	7.3 pt
折込広告	2,168	28.5%	1,643	22.1%	-524	-24.2%	-6.4 pt
販促物	916	12.0%	816	11.0%	-100	-10.9%	-1.0 pt
媒体	198	2.6%	170	2.3%	-27	-14.0%	-0.3 pt
クリエイティブ	680	8.9%	618	8.3%	-61	-9.1%	-0.6 pt
その他	792	10.4%	842	11.3%	50	6.4%	0.9 pt
合計	7,619	100.0%	7,431	100.0%	-187	-2.5%	



- ◆ インターネット広告は前年同期を大幅に超過
- ◆ 折込広告等の紙媒体広告は急減

【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)

広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)

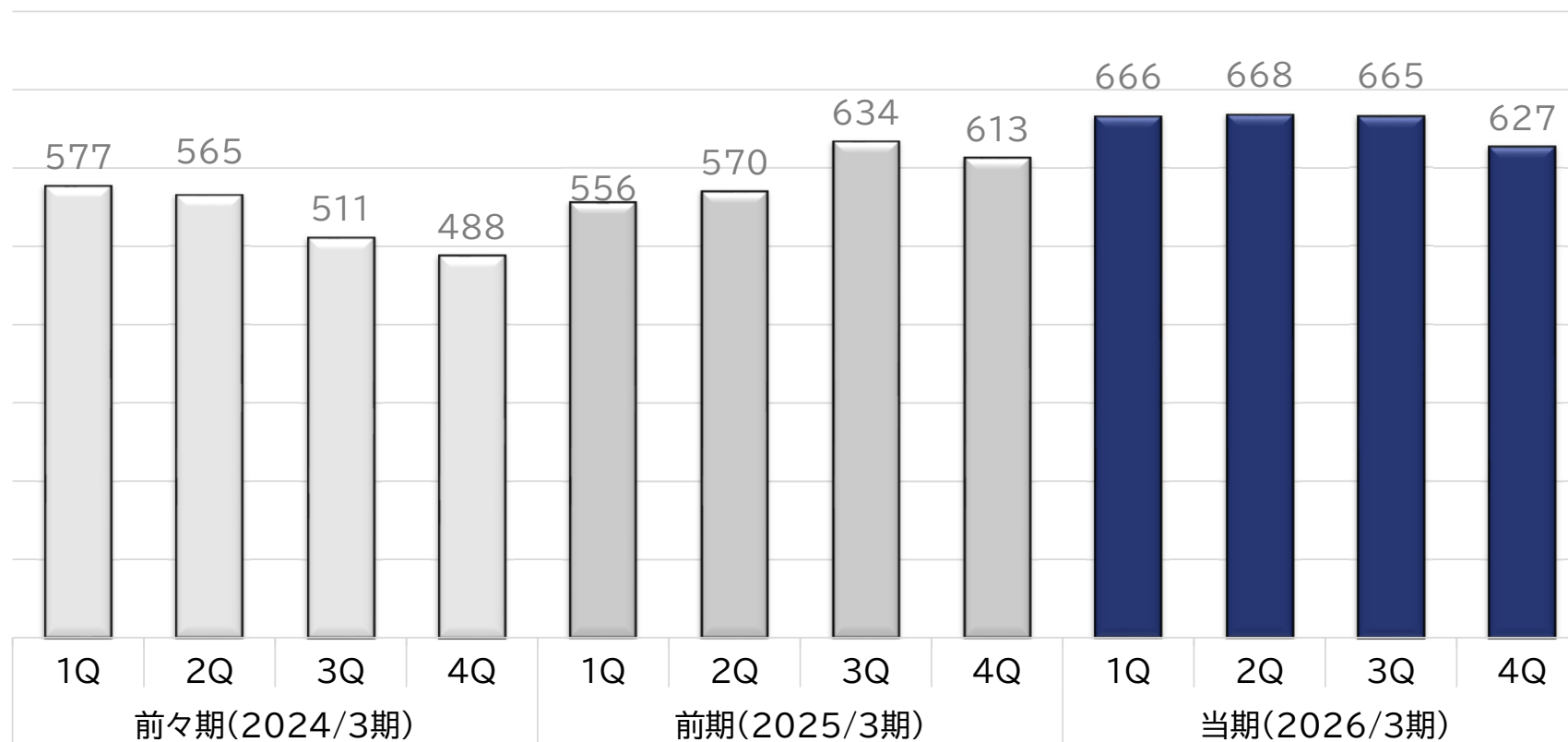


※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

◆ 紙媒体広告の減少や媒体等の代理人取引の減少により、総取扱高は前年同期と比較し減少

【参考】四半期売上総利益の推移(広告事業)

広告事業 四半期売上総利益の推移(百万円)



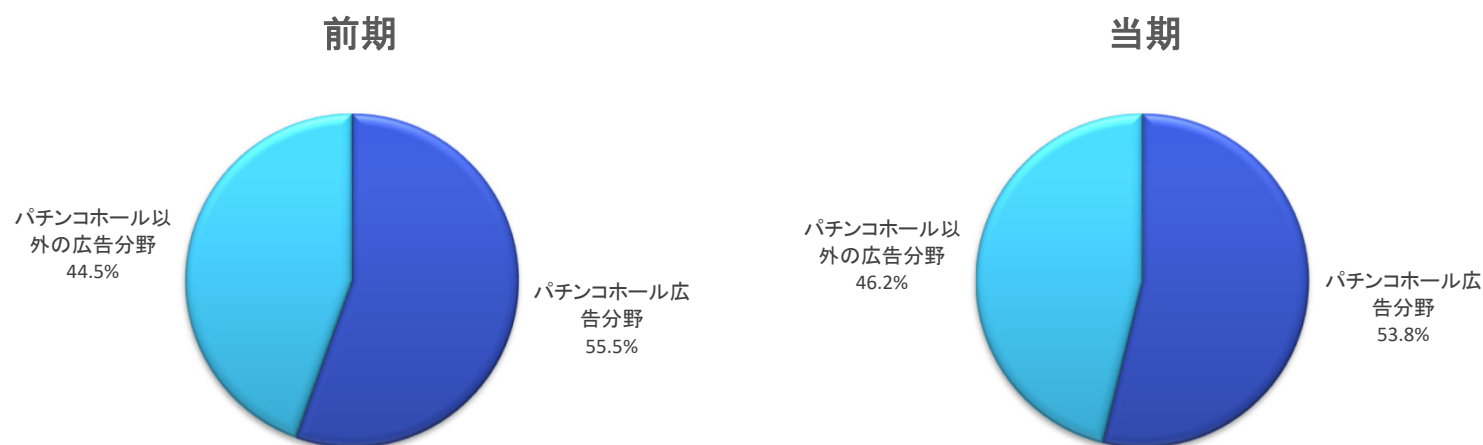
◆ 紙媒体広告からインターネット広告へのシフトが進み、売上総利益は増加

【参考】業種別総取扱高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前期		当期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	4,579	55.5%	4,269	53.8%	-310	-6.8%
パチンコホール以外の広告分野	3,675	44.5%	3,661	46.2%	-14	-0.4%
合計	8,255	100.0%	7,930	100.0%	-325	-3.9%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。



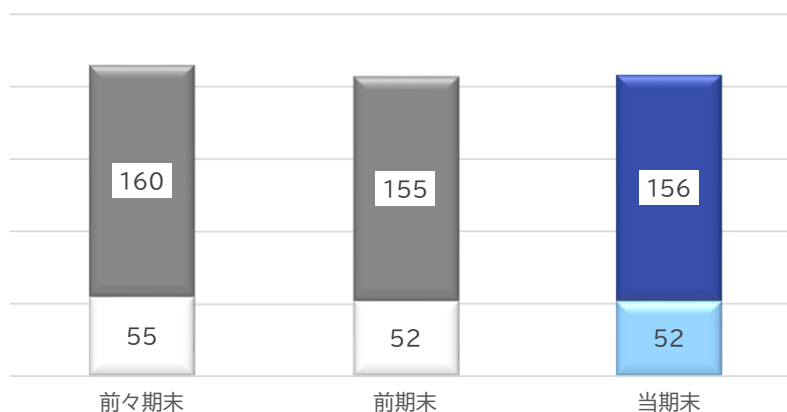
◆ 紙媒体広告からインターネット広告のシフトもあり、両分野とも取扱高は減少

従業員の状況

(単位:人)

	前々期末	前期末	当期末	前期比増減
営業・管理【販管費】	160	155	156	1
クリエイティブ【売上原価】	55	52	52	0
広告事業計	215	207	208	1

広告事業 人員数の推移(人)



- ◆ 営業・管理 :販売強化のため採用活動を再開
- ◆ クリエイティブ:紙媒体広告需要の減少により採用は抑制

セグメント損益(不動産事業)

(単位:百万円)

不動産事業	前期	当期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	56	99	+42	+75.7%
セグメント利益	19	47	+27	+140.3%

- ◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、大型の宅地建物取引手数料や賃貸物件の仲介等に伴う手数料収益46百万円を計上
- ◆ 結果、売上高は99百万円(前年同期比75.7%増)
セグメント利益は47百万円(前年同期比140.3%増)

連結貸借対照表

	前期末 (A)	当期末 (B)	(単位:百万円) 差額 (B)-(A)
現金及び預金	3,693	3,226	-467
売上債権	972	895	-77
その他流動資産	55	54	-1
有形・無形固定資産	695	705	9
投資有価証券	163	363	200
繰延税金資産	44	26	-18
投資その他資産	121	137	16
資産合計	5,746	5,409	-337
買掛金	496	443	-52
短期・長期借入金	675	587	-87
未払法人税等	67	209	142
その他の負債	306	277	-29
負債合計	1,545	1,518	-26
株主資本	4,205	3,897	-307
その他	-3	-6	-2
純資産合計	4,201	3,891	-310
負債・純資産合計	5,746	5,409	-337

.....→ 利益配当、自己株式取得による減少

.....→ {
 ・当期純利益+473百万円
 ・配当△255百万円
 ・自己株式取得△526百万円

連結キャッシュ・フロー

	前期	(単位:百万円) 当期
税引前利益	416	740
営業活動によるキャッシュ・フロー	510	673
投資活動によるキャッシュ・フロー	-132	-273
財務活動によるキャッシュ・フロー	-121	-868
現金及び現金同等物の期末残高	3,687	3,220

+ 税引前利益	740	
+ 減価償却費	54	
+ 売上債権の増減額	74	
+ その他	45	
		- 仕入債務の増減額 52
		- 預り金の増減額 47
		- 法人税等の支払額 103
		- その他 36
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	
+ 敷金及び保証金の回収による収入	10	
+ その他	8	
		- 有形/無形固定資産の取得による支出 55
		- 投資有価証券の取得による支出 205
		- 敷金及び保証金の差入による支出 30
投資活動によるキャッシュ・フロー		273
+ 長期借入れによる収入	400	
		- 借入金返済による支出 487
		- 自己株式取得による支出 526
		- 配当金の支払額 255
財務活動によるキャッシュ・フロー		868

◆ 現金及び現金同等物は当連結会計年度において467百万円減少

次期(2027年3月期)連結業績予想について

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想	当期比
売上高	7,531	8,000	6.2%
営業利益	674	800	18.6%
経常利益	680	800	17.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	473	520	9.8%

◆パチンコホール広告分野

- ・ 集客に貢献するサービスやDSP広告が引き続き堅調に推移すると予想
- ・ 生成AIツールを活用した新サービスの展開や、既存サービスの高付加価値化を推進
- ・ 物価高騰等の環境変化に応じた販売価格の適正化

◆パチンコホール以外の広告分野

- ・ 強みを持つフィットネスや住宅関連に加え、新たにフランチャイズ業界への展開を強化し、収益基盤の多角化を推進

◆対当期比で増収・増益を計画

◆ 広告事業の収益基盤強化と顧客ポートフォリオの最適化

- ・ 大手パチンコホールを中心とした安定取引の拡大
- ・ 集客貢献度の高い広告・サービスの開発・拡販
- ・ デザイン生成AIツール等、高付加価値領域の販売強化

◆ 需要の伸びが期待されるセクターでの顧客開拓

- ・ フィットネス、買取業で培ったノウハウを活かしたフランチャイズ業界への積極展開
- ・ 主力のフィットネス施設や住宅関連分野における取引深耕
- ・ 既存事業とのシナジーが見込まれる領域、および新規セクターにおける資本業務提携、M&Aの検討、実施

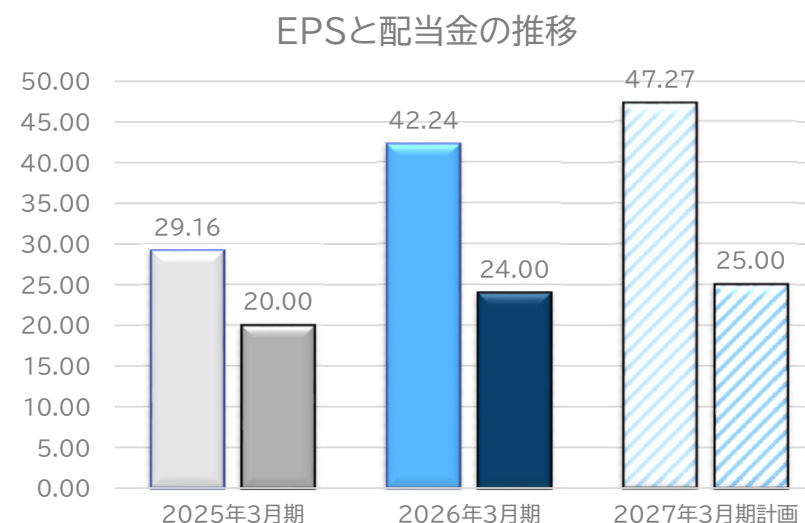
◆ 持続的な成長のための人材育成と組織力強化

- ・ 若手、中堅社員の定着率向上とスキルアップ
- ・ 長期的なキャリア形成を支援する人事制度の運用・改善
- ・ 人的資本への投資継続と競争力ある処遇の実現

株主還元について

		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期計画
連結EPS	円	29.16	42.24	47.27
年間配当金	円	20.00	24.00	25.00
(うち中間配当)	円	(10.00)	(12.00)	(12.00)
配当性向	%	68.6%	56.8%	52.9%
DOE(株主資本配当率)	%	5.9%	6.9%	約6.4%(予想)
配当総額	百万円	233	255	264
※ 配当総額は期中支払額				
期中自己株式取得額	百万円	—	526	—
期中取得自己株式数	株	—	1,300,000	—
期末発行済株式数(自己株式除く)	株	12,300,000	11,000,000	11,000,000

※ EPS、配当金及び期末発行済株式総数は、自己株式の取得の影響を考慮しております



【株主還元に関する基本方針】

- ・DOE6%と配当性向50%で算定される金額のうち、いずれか高い方を一定の目安として配当を実施
- ・資本効率の向上を重視し、適切なタイミングにおいて自己株式を取得

- ◆ 当期における株主還元
当期末の配当金:12円(年間24円)
配当性向 56.8%
DOE 6.9%
- ◆ 次期(2027年3月期)の配当予想:年間25円
予想配当性向 52.9%
予想DOE 約6.4%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部

URL. <https://www.gendai-a.co.jp/ir/contact/index.php>

Tel. 03-5358-3334

